

2009年9月30日

Ver 1.0

ユーザーレビュー利用ガイドライン

明治大学図書館

1. 目的

明治大学図書館(以下 図書館)が提供するユーザーレビュー機能は、以下の目的で図書館利用者(以下 利用者)に提供するものです。

- ・ 利用者が資料に関する有益な情報を広くその他の利用者に公開するため
- ・ 特に学生については、伝えたいことを短く的確に書く訓練の場を提供するため
- ・ 図書館が提供する資料やサービスを利用者と共により向上させるため

2. 利用者の義務

利用者は、不特定多数が読むことを前提として、他人の権利を侵害したり、不快な感情をいだかせないように細心の注意を払わなければなりません。

特に、以下の事項は遵守しなければなりません。

- ・ 個人情報を公開してはいけません。
- ・ 個人や特定の団体等への誹謗・中傷をしてはいけません。
- ・ 差別的な表現をしてはいけません。
- ・ 公序良俗に反してはいけません。
- ・ 脅迫的・威圧的な表現をしてはいけません。
- ・ 第三者の権利を侵害してはいけません。
- ・ 商業的行為をしてはいけません。
- ・ 法律違反をしてはいけません。
- ・ 学外のサイトへの誘導をしてはいけません。

これらの義務に反した場合には、図書館の利用停止を含めたあらゆる罰則が適用される可能性があります。また、第三者に対して、あなたが作成したレビューが何らかの被害を与えた場合、そのすべての責任は当該レビューを作成した利用者が負わなければなりません。また被害に対して補償が必要となった場合には、利用者が補償を行わなければなりません。

また、学校法人明治大学図書館利用規程および学校法人明治大学総合情報ネットワーク(MIND)利用基準を遵守しなければなりません。

3. 管理者の役割と義務

図書館管理者(以下 管理者)は、ユーザーレビューが利用者にとって有益であるように管理・維持する役割を担います。この役割の遂行のために、管理者は利用者によって公開されたユーザーレビューを確認することができます。加えて、ユーザーレビューが2. で述べた

利用者の義務を守っていない場合には、ユーザーレビューを強制的に非公開にすることができます。また、2. で述べた利用者の義務を守っていても、管理者が公開に適さないと判断した場合には、ユーザーレビューを非公開にすることができます。管理者が強制的にユーザーレビューを非公開としても、その旨を利用者に通知する義務はありません。

管理者はユーザーレビューを強制的に削除する権利はありません。また、管理者は利用者が非公開に設定した読書ノートレコード(ユーザーレビュー)を確認・閲覧しません。

管理者は、ユーザーレビューが利用者と図書館に役立つように管理を行いますが、すべてのユーザーレビューを確認する義務はありません。

管理者は、利用者から不適切と思われるユーザーレビューの報告があった場合、当該ユーザーレビューを確認しなければなりません。当該レビューが不適切である場合には、速やかに非公開にしなければなりません。なお、利用者から不適切と思われるユーザーレビューの通知があっても、当該ユーザーレビューを必ず非公開にする義務を管理者は負いません。

以上